

程度進行を表す後項動詞「～こむ」に関する一考察 —韓国語との対照的な観点から—

諸貞熙 上原聡

東北大学大学院国際文化研究科

jhje@intcul.tohoku.ac.jp

1. はじめに

一般的に言って語構成においては、自動詞は自動詞と、他動詞は他動詞と結びつきやすいと言われている。しかし「こむ」は、自動詞、他動詞の区別なく自由に結合するため語彙的な結合制限がありながらも非常に生産性が高い。動詞と動詞の結合である複合動詞の中でもっとも生産性の高い「込む」は、韓国語にはない漢字語であり、韓国語で「込む」に当たる意味として使用される語が多様である。

そこで本研究では“朝晩、めっきり**冷え込む**”のような動作・作用の程度が進行することを表す後項動詞「～こむ」の用法を韓国語との対照的な観点から考察する。方法としては、対訳コーパスを用い、後項動詞「～こむ」に対応する韓国語を調査し、程度進行を表す「～こむ」の意味特徴を明らかにする。

2. 先行研究

代表的な研究として姫野(1999)が挙げられる。姫野では、「～こむ」に先行する動詞の種類が285語と語彙的複合動詞の中で第1位であると述べている。さらに意味分類を行い、「～こむ」の複合動詞のうち約8割は、主体あるいは対象がある領域の中へ移動することを表しているとし、格助詞「に」を伴って示されるのを「内部移動」と呼んでいる。そしてそのほかの、動作・作用の進行により程度が高まり、ある密度の濃い状態に達することを表している用法を「程度進行」として、2つのグループに分けている。本稿ではこの「程度進行」を表す用法に焦点を当てて考察する。姫野では「程度進行」を進行内容によって、固着化(例：人が黙り込む)、濃密化(例：人が老い込む)、累積化(例：人が毎日1km泳ぎこむ)の3グループに分類し説明を加えている。

また松田(2004)では、姫野の研究に基づいて、V1とV2の意味関係に着目し、「に」格を伴う「～こむ」と「に」格を伴わない「～こむ」をさらに分けて次のように分類している。

表1. 松田(2004)の意味分類

二格を伴う「～こむ」		二格を伴わない「～こむ」	
Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ
V1は「内部移動」を含意しない	V1自体が「内部移動」を含意する	V1が示す状態への変化とその状態への固着	V1の反復行為により生じる状態変化(目標に向けて)
例 飛び込 _ひ 呼び込 _ひ	例 入り込 _ひ 植え込 _ひ	例 冷え込 _ひ 眠り込 _ひ	例 十分に 走り込 _ひ

「に」格を伴わない「～こむ」は姫野が「程度進行」として分類したものにあたり、Cタイプは「固着化」「濃密化」で、Dタイプは「累積化」にあたる。また「二格を伴わない」用法は移動先が抽象化された場所に

なるため、二格が省略されていると述べている。

また韓国語との対照研究としては、川口義一・李潤玉(2001)があり、[動詞+コム]形式をインターネット検索・新聞・雑誌記事などから採取したものを、著者本人が韓国語に翻訳し、日本語の複合動詞部分に対応する韓国語の形式によって6類型に分類している。

- 1) 들어가다,오다(入る)/넣다(入れる)による対応
- 2) 副詞による対応
- 3) 해두다(～ておく)/해버리다(～てしまう)による対応
- 4) 「受動形」「使役形」としての対応
- 5) 끌어들이다(引き入れる)としての対応
- 6) 韓国語の本動詞として対応

3. 調査対象語とデータの収集

データとしては、CD-ROM版新潮文庫100冊(1995)と青空文庫のテキストファイルを使用した。また日韓並列コーパス検索サイトTrankjを用い、日本語の作品が韓国語で訳されているものも収集した。その中で韓国語訳が出版されている作品を長編、短編の様々な小説を合わせて計21作品を選んだ。出典は本稿の最後のデータ出典に記す。収集したコーパスをコンピューター検索によってV2に「こむ」を含む文を全て抽出した。そしてそれに対応する韓国語訳のデータを手作業によって作成した。収集した対訳コーパスに表れた韓国語訳の傾向は様々なパターンがみられる。しかし、本研究は翻訳に関する研究ではないことから、まず日本語の「V1+こむ」の持つ本来の意味から離れて対応にならないもの、意識、idiom化されたもの、訳されていないものは除外した。例は次の(1)、(2)のようなものである。

- (1) 古川の持っている田圃の井戸を埋めて**尻を持ち込まれた**事もある。 [13]
hulukhawaney cip non-uy wumwul-ul meywe **chaykim-ul cin** il-to issta.
・chaykim-ul cin: 責任を負った
- (2) 自分でも呆れ、しかしそれ以上にまごついている女の表情は、ますます**引込みがつかなくなり**、「なにかこう、息抜きでもない、殺風景でしようがないからな……」 [17]
susuloto eika epsessta. kulena ku isang-ulo eccel palul molla hanun yeca-uy phycoceng-ey cemcem te **mal-ul ketwetuliki-ka elyeppta**.mwe com kipun cenhwan-ilato hayyaci salphwungkyeng-hayse eti kyentil swu-ka isskeysse
・mal-ul ketwetuliki-ka elyeppta: 話をまとめることが難しい

また、次の(3)、(4)のように「V1+込む」のひとまとまりの語彙化された名詞形が除外する。

- (3) 「乗客の申し込みは当日では乗れないでしょうね？」 [16]
thapsung sincheng-un tangil-ey haysenun thal swu
epskeyssciyo.
・ sincheng : 申請
- (4) 玉葱やじゃが芋の入った野菜の煮こみだった。 [1]
yangpha-wa kaca-ka tun yachaytang-iessta.
・ yachaytang : 野菜湯(野菜の汁物)

上記以外のデータの中から対訳コーパスの用例 935 例を考察すると調査対象の用例はまず大きく 2 つに分けて考えることができる。姫野(1999)に基づいて意味的な面からそれぞれ「内部移動」と「程度進行」に 2 つのグループに分類すると、「内部移動」を表す例は 826 例(88%)で、「程度進行」を表す例は 109 例(12%)あり、松田(2002:112)でも述べられているように「V+こむ」の「程度進行」の用法は「内部移動」よりは少なかった。

上記の意味的な面から分類された 2 つのグループは、韓国語との対応ではさらにそれぞれ形態的な面から次のように 3 つのパターンに分けて考察することができる。

I 動詞+動詞・II 単純動詞・III 副詞・副詞的な語句+動詞

今回は程度進行を表す用例 109 例のみを考察の対象にするが、内部移動の用例について簡単に紹介すると、方向を表す日本語の語彙的複合動詞は韓国語においても複合動詞になる傾向があるとされているとおり、全用例の半分以上である 504 例を占めていた。特に韓国語の対応においても「tul-ta(入る)」「neh-ta(入れる)」のような内部移動の意味を持つ動詞として表れることが分かった。これらは比較的理解されやすいので、初級レベルの学習者も容易に学習できると考えられる(諸,他 2005)。

4. 韓国語との対応関係とその考察

4.1 動詞+動詞

このパターンは、程度進行を表す「～こむ」の複合動詞が韓国語対訳でも複合動詞の形になるもので、動詞が 3 つ連続で表れたものも含む。本研究のデータの中でこのパターンになる例は 1 例しかみられなかった。次のエラー! 参照元が見つかりません。にその例を挙げる。

- (5) 男と女がいっしょに死んでいる。わかりきったことだ、情死だ、と思いこむ先入主観に頭脳がこぶったのです。 [16]
namca-wa yeca-ka hamkkey cwuke issta. ppenhan ilici,
cengsata ilehkey ssangkakhay peliko manun senipkwan

1 川口義一・李潤玉(2001:944)でも指摘しているように、韓国語学では動詞と動詞が続く形態を「複合動詞」と名づけるかどうかについては議論のところであり、本研究では、韓国語の形態分析には入らず、韓国語対訳で動詞 2 項以上が続くものを「動詞+動詞」のカテゴリーに入れる。

ttaymwun-ey meli-ka twunhaycin kesipnita

- ・ ssangkakhay peliko manun : 思ってしまったしまう

(5)は「sayngkak-hata(思う)」に、ある動作が完全に完了したことを表す補助動詞「pelita(しまう)」と、動詞の語尾「ko」に付いてその動作が終わったことを表す意味の補助動詞である「malta(しまう)」が組み合わさった 3 つの動詞が続くものに対応した。しかし(5)は「動詞+動詞」のカテゴリーに入れたものの、典型的な複合動詞(動詞+動詞)とは異なり、完了を表す補助動詞 pelita、malta を使用し固着化の「～して動かない」という意味を説明している。このように「程度進行」の「動詞+動詞」の中には内部移動に対応する tul-ta(入る) neh-ta(入れる)の意味は表れない。

4.2 単純動詞

このパターンは「～こむ」の意味が消える例で、韓国語の動詞の 1 語に対応するものである。さらに単純動詞は 2 つのパターンに分けることができ、「固有語動詞」が 38 例、「漢字語+ha-ta(する)」形が 9 例である。

川口義一・李潤玉(2001)では、程度進行を表す「信じ込む、思い込む、老い込む、沈み込む」などを韓国語との対応のとき、「～hay pelita (～してしまう)」に対応する用例として扱っているが、実際の用例の中では、「動詞+動詞」のパターンではなく、一語の動詞として対応する「単純動詞」のパターンと「副詞・副詞的な語句+動詞」パターンで表れた。例(6)～(8)に「固有語動詞」を、例(9)～(11)に「漢字語+ha-ta(する)」の例を挙げる。

- (6) コンスタンティノーブルにある財宝は、すべて兵たちに分配されるというスルタンの宣言は、眼の前の都が地中海世界で最も豊かと信じこんでいる彼らには、はなはだ魅力的にひびいたのだった。 [18]
khonsuthanthinophul-uy cayhwa-lul mocoli pyengsatul-eykey
nanwecwukeyss tanun swulthan-uy senen-un nwnunap-uy
tosi-ka cicwunghay-eyse kacang pwuywuhatako mit-ko issnun
kutul-eykey-nun mwuchekina maylyekcekiessta.
・ mit-ko issnun : 信じている

- (7) 「…まあ早く云えば老い込んだのです」先生の言葉は寧ろ平静であった。…私は先生を老い込んだとも思わない代りに、偉いとも感心せずに帰った。 [20]
hanmatilo malhayse, icey nulkesstako hal swu issciyo
na-nun sensayng-ul nulkesstako sangkakhacito,
hwulywunghatako kamthanhacito anhassta.
・ nulkessta : 老いた

- (8) 「駅に出迎えて会った」といえば、誰でも、下車した人間を迎えて会ったのだと思いこむ。 [16]
yek-olo macwunghawa mannasstako hamyen nwukwuna,

cha-eyse naylin salam-ul macwunghaye mannasstanun kes-ulo
sayngkak-hanta

・sayngkak-hanta : 思う, 考える

- (9) むろん、はじめはお時とばかり思いこんでいましたが、お時では、
どうも辻褃が合わなくなりました。 [16]

mwullom cheum-eynun ottokki-lako
tanceng-hay-ssressupnitaman ottokki-ka kulaysstako
hantamyen eccenci ichi-ka macci anhassupnita

・tanceng-hay-ssressupnitaman : 断定していましたが

- (10) いい返事の一つも聞かせてくれれば、すぐにも解いてやったかもしれ
ないのに。それとも、ふさぎ込んでいるのだろうか? [17]

kulelssahan taytap hanmati hayewumyen tangcangilato
pwulecwul swu issnuntey animyen naktam-hako issnun
kesilkka.

・naktam-hako : 落胆して

- (11) 愛すべき子供は、そう云う時になると、必ぼんやり、傍にかけた普
賢の画像を眺めながら、鼻の長かった四五日前の事を憶い出して、
「今はむげにいやしくなりさがれる人の、さかえたる昔をしのぶが
ごとく」ふさぎこんでしまうのである。 [3]

pwulssanghan naykong-un kulel ttaymata pantusi kyeth-ey
kellin pohyen-uy hwasang-ul menghani palapomyense kho-ka
kilessten 4.5il cen-uy il-ul sayngkakhamye iceynun teepsi
chenhaycin salam-i yenghwalopten cinannal-ul kuliwe hatusi
wuwul-haycinun kesiessta

・wuwul-haycinun : 憂鬱になる

日本語の「考える、思う」は韓国語では一般的に「sayngkak-hata」に
なる。したがって、「考え込む」も「思い込む」も「単純動詞」のパタ
ーンで表れるときは「sayngkak-hata」になり、それ以外の副詞は付かな
い。

4.3 副詞・副詞的な語句＋動詞

このパターンは、程度進行を表す「～こむ」の内容が韓国語における
動詞に先行する説明的な副詞・副詞的な語句として表れるもので、さら
に副詞・副詞的な語句と単一動詞の結合と、副詞・副詞的な語句と 2 つ
以上の動詞が続いて結合する例に分けられる。つまり「単純動詞」のパ
ターンとは違い、程度進行の「～こむ」の意味を残しているのである。

程度進行の用法 109 例の半分以上である 61 例みられた。筆者は「～こ
む」が「程度進行」の意味で用いられる場合、韓国語の一つの動詞だけ
では表すことができないため、十分に、しっかり、何かをするという意
味の副詞・副詞的な語句＋動詞のパターンで現れる例が多いと予測した。
また川口義一・李潤玉(2001)でも、程度進行を表す「眠り込む、考え込む、
寝込む、話し込む」などを韓国語との対応の時、「kipi(深く)、pwuk(ぐっ

すり)、cwuwuk/olaystongan(長時間、chenchenhi(ゆっくり)」の副詞に
よる対応する用例として扱っている。しかし実際用例の中では、以上の
ような動詞を強調する副詞はあまり現れない。

このグループでもっとも多い出現頻度を見せるのは「考え込む、黙り込
む、眠り込む」である。次の(12)～(15)はそれぞれ「話し込む、考えこむ、
黙り込む、眠り込む」の例である。

- (12) 彼と話し込んでいるところを見られては、具合がわるいのだろう
か? [17]

ku-wa yelsimhi iyaki nanwunun cangmyen-ul
mokkeyktanghamyen konlanhan ililato issnun kesilkka

・yelsimhi iyaki nanwunun : 熱心に話をする

- (13) 三原はこれを見つめて考えこんだ。 [16]

mihala-nun ikes-ul tulyetapomyense sayngkak-ey camkyessta

・sayngkak-ey camkyessta : 考えに沈んだ

- (14) 老人が黙りこんだので僕は猿を壁のわきにもぐりこませた。 [1]

kuleko nase taylyeng-un camcakho mali epsessumulo na-nun
wenswungi-lul pyek yeph-ey campok-sikhyessta

・camcakho mal-i epsess : 黙然と話がなかつた

- (15) 「……でも早くしないと血を吸いとられてそのまま眠りこんで
ってしまうわよ」 [1]

kulehci anhumyen phi-lul ppalliko kutaylo cam-ey ppacye
cwuke pelil keyeyyo

・cam-ey ppacye : 眠りに陥って

5. おわりに

以上、対訳コーパスを用い、程度進行の後項動詞「～こむ」に対応す
る韓国語を調査し、パターン別に考察した。

本研究では、日本語の複合動詞「～こむ」が必ず韓国語の複合動詞の
形態に表れるわけではないということが分かった。特に「程度進行」の
意味で用いられる場合は「副詞・副詞的な語句＋動詞」のパターンで対
応する例が半分以上を占めていることが分かった。呉(1998)と李(2003)
でも指摘しているように、日本語の補助動詞と複合動詞の後項動詞は韓
国語の方より文法化が進んでいるが、韓国語の方は本来の動詞としての
実質的な意味が残るその文法化の度合いが低いと言われている。そのた
め、日本語の場合は韓国語の複合動詞の後項要素と補助動詞を用いて表
現できないところまで幅広く表現できるので、日本語の機能語化した複
合動詞の後項要素や補助動詞の文法的な意味の中には、対応する韓国語
の動詞の形を持たず、修飾語句に訳されたり、複合動詞全体が一つの単
純語として訳されたりするものが多くみられるという。「～こむ」もその
例の一つである。したがって、韓国語の場合は「内部移動」を表す動詞
が「程度進行」の意味を表すことがないので、前項動詞の程度の強さ・
密度の濃さを強調する説明的な副詞・副詞的な語句として表れると考え

られる。また本研究で明らかになったことの一つは日本語の或る一つの複合動詞「～こむ」は韓国語の対応でいつも同じパターンになるとは限らないということである。それは場面と文脈によって様々な意味と形態に変わる場合があるからであろう。

以上、本研究で用いたデータの中で「程度進行」を表す「～こむ」を姫野(1999)の3グループ(固着化、濃密化、累積化)に基づいて韓国語との対応表現を表に示すと次のようになる。

表2. 程度進行を表す「～こむ」の韓国語との対応表現

韓国語の パターン	固着化	濃密化	累積化
複合動詞	思い込 ₁	×	×
単純動詞 (漢字語)	思い込 ₂ 、ふさぎこむ、決め込 ₁ 、考えこむ	×	×
単純動詞 (固有語)	思い込 ₁ 、 <u>座り込₁</u> 、 <u>信じ込₁</u> 、寝込 ₁ 、眠り込 ₁ 、沈み込 ₁ 、ふさぎこむ	老い込 ₁ 、咳き込 ₁ 、む、立て込 ₁ 、冷え込 ₁	<u>教え込₁</u> 、洗 ₁ 込 ₁ 、煮 ₁ 込 ₁
副詞・副詞 的語句 +動詞	考えこむ、話し込 ₁ 、黙り込 ₁ 、決めこむ、思い込 ₁ 、沈み込 ₁ 、寝込 ₁ 、ふさぎこむ、眠り込 ₁ 、構え込 ₁	咳き込 ₁ 、冷え込 ₁ 、む、立て込 ₁ 、急ぎ込 ₁	洗 ₁ 込 ₁ 、使 ₁ 込 ₁ 、拭き込 ₁ 、磨き込 ₁
	マイナス評価		プラス評価

表からも分かるように、程度進行の「～こむ」は韓国語の複合動詞としてほとんど表れることがない。また単純動詞の「漢字語+ha-ta(する)」の形式になるものは「固着化」のグループしかない。

今後はさらにデータを増やし「～こむ」以外の内部移動を表す後項動詞「～入れる」、「～こめる」や前項動詞「こみ～」の複合動詞についても考察したい。またそれぞれの持つ意味の差についても考察したい。またそれぞれの持つ意味の差についても考察しようと考えている。

さらに「こむ」の文法化については、韓国語の内部移動動詞「tul-ta(入る)」「neh-ta(入れる)」がどのように日本語に対応するのか分析することによって、日本語の「こむ」の文法化がより詳しく説明できると考える。それとともに、通時的な観点からも意味の拡張や変化についてさらに深く探っていきたい。

謝辞

本研究は、平成17年度日本学術振興会科学研究費補助金(No. 15520241)の補助を受けて行われています。

データ出典

- [1]世界の終わりとハードボイルドワンダーランド 村上春樹[附録](김진욱訳2002)
[2]羅生門 芥川龍之介 『新』(진웅기・김진욱訳2000)

- [3]鼻 芥川龍之介 『新』(同上)
[4]杜子春 芥川龍之介 『青』(同上)
[5]藪の中 芥川龍之介 『青』(同上)
[6]地獄変 芥川龍之介 『青』(同上)
[7]河童 芥川龍之介 『青』(同上)
[8]歯車 芥川龍之介 『青』(同上)
[9]大道寺信輔の半生 芥川龍之介 『青』(同上)
[10]玄鶴山房 芥川龍之介 『青』(同上)
[11]或阿保の一生 芥川龍之介 『青』(同上)
[12]注文の多い料理店 宮沢賢治 『青』(민영訳2000)
[13]坊ちゃん 夏目漱石 『T』
[14]無鉄砲 夏目漱石 『T』
[15]放浪記 林芙美子 『新』(최연訳2001)
[16]点と線 松本清張 『新』(강영길訳2003)
[17]砂の女 阿部公房 『新』(김난주訳2001)
[18]コンスタンティノーブルの陥落 塩野七生 『新』(최은석訳1998)
[19]金閣寺 三島由紀夫 『新』(허호訳2002)
[20]こころ 夏目漱石 『新』(서석연訳1990)
[21]雪国 川端康成 『新』(유숙자訳2002)
『新』: CD-ROM 版新潮文庫100冊(1995)
『青』: 青空文庫<http://www.aozora.gr.jp/index.html>
『T』: 日韓並列コーパス検索<http://transki.com>

参考文献

- 生越直樹(1983)「日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・副詞的な語句との関係」『日本語教育』52号 pp.55-64
影山太郎(1993)『文法と語構成』ひつじ書房
川口義一・李潤玉(2001)「語彙指導のための日本語複合動詞の意味研究」『韓日語文学総論』태학사 pp.943-983
姫野昌子(1999)『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房
松田文子(2004)『日本語複合動詞の習得研究 - 認知意味論による意味分析を通して』ひつじ書房
吳美善(1998)「日本語動詞の文法化に関する考察—韓・日語の対照を通じて—」『慶熙大学校 論文集第27輯. 人文・社会科学篇』pp.121-140
李環洙(2003)『韓・日両言語の複合動詞と対照研究』J&C
諸貞熙(2005)「日本語の後項動詞「～こむ」についての一考察 - 韓国語との対照的な観点から -」『言語処理学会第11回年次大会論文集』(CD-ROM 版所収)

² 下線のところは、先行研究では例として挙げられなかったが、実際データの中に現れた例を加えたものである。